

支 部 大 会 報 告 な ど

ここ2年間の支部大会は、1978年12月3日(日)パリ大学ルネ・ポモー教授の特別講演を加えて岡山大学教養部において、また1979年12月8日(土)広島修道大学において盛會裡に開催されまして、多くの充実した研究発表がきかれ、支部会務の審議がはたされ、また懇親会では久しぶりの会員相互の歓がつくされましたことは、偏えに両主催校のスタッフの方々の献身的なご尽力の賜物にて、ここに心から厚く御礼を申し上げたく存じます。そのうち昨年12月の支部総会でのめばしい報告事項としては、①1979年度志賀高原スタージュにはその運営委員として本部の指名により加藤宗登先生にご苦勞を願ったこと、②最近本部で組織された小林路易氏を委員長とする学会規約改正委員会に各支部長も参加すること、③故小場瀬卓三氏の学会への寄附金百万円を基金とし故人の遺志により若い研究者の研究奨励を目的とする「小場瀬研究奨励賞」が設けられ、毎年春の大会で2名を表彰、その前年の6月末日を区切りとし、当日35才未満の会員のそれ以前の過去2年間の業績——学会誌発表論文、各支部よりの推薦、また自薦も含めた印刷論文などを対象とすること、④機関誌復刊第2号を本年刊行する予定であること、などが挙げられます。なおこの支部総会では役員の方々の全面的な改選が行なわれ(前頁の役員名参照)小生も支部長の任を解かれ、新たに改選された杉富士雄先生にバトンをお渡しすることになりました。ここ4年間にわたって小生がこの大任を大過なくすごせましたのも、役員の方々、並びに会員各位の支部活動充実へのご熱意あつたことにて、退任に際してここにふかく感謝の意をささげますとともに、機関誌復刊第2号の編集刊行に当たっていただいている新支部長、編集委員長を始めとする編集委員の方々に篤い謝意を表し、また最後に会員諸兄弟のご健康とご研鑽を祈りつつ、これをもって簡単ながら退任のご挨拶に代えさせていただきます。なお研究発表会のプログラム、その掲載誌、ならびにこの度改選された方々の多い役員名は前頁の通りでございます。

(前支部長 長崎 広次)